

# くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



## 「来年度入学児童との交流会」を実施したよ!

3月6日(水)に、来年度栗真小学校に入学する園児とその保護者をお招きし、交流会を行いました。来年度は、19名のお子様が本校に入学する予定です。当日は、残念ながら、園の行事と重なっていたり、雨天だったりしたため、園児9名だけの参加となりましたが、園児も園児を迎え入れた1年生の子どもたちも、楽しいひと時を過ごすことができました。

交流会では、最初に1年生の子どもたちが前に並び、大きな声で歓迎の言葉呼び掛けました。そのあと、果物クイズが3問ありました。それぞれの問題ごとに、ヒントが3つあります。第1問目の1つ目のヒントは「まるいかたち」でした。「すいか」「みかん」など、園児から次々に声が上がりました。でも、正解ではありません。2つ目のヒントは「食べるとシャキシャキ」でした。すぐに「りんご」と園児が答えました。大正解です。こんなふうに果物クイズを進めていきました。1年生担任から、「国語の学習では、今回の果物クイズのように、ヒントを考えながら自分たちでクイズを作る勉強もするんだよ」と園児に話すことにより「小学校の学習が楽しいよ」ということを伝えました。すかさず1年生の子が「楽しいよ」と園児に向かって伝えていたことが微笑ましかったです。

次は、ゲームです。最初に「じゃんけん列車」をして、みんなで楽しみました。ほとんどの園児が知っている遊びだったので、簡単に実演をして確かめたあと、進めていきました。最後までじゃんけん勝ち進んだ子を先頭に長い列ができあがり、「楽しかった!」の声が園児から聞こえてきました。次に「フルーツバスケット」をしました。知らない子もいましたが、楽しんでいるうちにルールが分かってきたのか、「自分が真ん中の鬼をしたい」と手を挙げる園児がたくさんいました。あっという間に楽しい時間は過ぎていきました。

最後に、1年生の子どもたちから、生活科で育てたアサガオの種のプレゼントを園児に渡し、交流会を終えました。園児の中には、小学校へ入学する前に不安を感じていた子もいたのではと思います。この交流会に参加したことで、その不安が解消され、期待を大きく膨らませることができたら、とっても嬉しく思います。

また、園児を迎え入れた1年生の子どもたちも、来年度入学してくる園児たちに喜んでもらおうと必死になっている姿がありました。まだ1年しか経っていないのですが、この日の様子を眺めていると、1年生の皆さんが確実に成長しているなど実感しました。



## 「栗真保育園の年長児との交流会」を実施したよ！

3月7日(木)の2限目に、栗真保育園の年長児と本校1年生との交流会を実施しました。2月に予定していた行事でしたが、感染症が流行していたため、この日に延期になっていました。栗真保育園の年長児のうち、4名の園児が来年度栗真小学校に入学してきます。昨日実施した「来年度入学児童との交流会」には、栗真保育園で大切な行事があったために参加できなかったのですが、昨日と同じ内容で、交流会を進めていきました。今回の交流会も、昨日のように、園児も園児を迎え入れた1年生の子どもたちも、楽しいひと時を過ごすことができました。



## 「白塚愛児園の年長児」が学校見学に来たよ！

3月7日(木)の業間の時間に、白塚愛児園の年長児が、栗真小学校の見学に来ました。白塚愛児園では、近隣の小学校の様子を年長児に見学させることで、小学校に入学する際に感じる不安を解消させ、期待を膨らませることがねらいの一つだそうです。それぞれの小学校のある場所や、校舎や運動場の様子などのハード的な面と、業間の時間に小学校の子どもたちが運動場で楽しく遊んでいる姿などのソフト的な面に視点を充てて見学するようです。白塚愛児園からも6名の園児が、来年度栗真小学校に入学してきます。小学校の子どもたちが楽しく遊んでいる様子を見学することを通して、小学校も楽しいところだなと感じることができればと思います。



## 栗真保育園の職員とのワーキング会議を開催しました！

3月7日(木)の16時から、栗真保育園とのワーキング会議を開催しました。学校日より48号にて紹介した「津市架け橋プログラム」に係る取組です。栗真保育園からは、4名の職員に参加していただきました。今回は、第1回目のワーキング会議ということで、グループ別に自己紹介をしていきました。園と小学校の職員がお互いに理解を深めていくために「好きな食べ物」「マイブーム」など、気持ちがあぐれるお題を出して紹介し合いました。このような交流会では、楽しく語り合える雰囲気づくりが大切です。そのあと、園児や児童の実態で感じていることを付箋紙に記入し、どのような場面からそう感じるのかも付け加えながら語り合いました。語ったあとには、それぞれの付箋紙を模造紙に分かりやすくまとめ、最後にみんなの前でグループ別に発表していきました。どのグループからも、共通する実態が出されました。これらの継続した取組により、園から小学校への架け橋期の子どもの育ちや学びが、よりよいものへと改善していくことができたらと思います。

